

第八十一回 帝國議會 貴族院 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道 特別委員會會議事速記録第三號

付託議案(追加)

- 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
- 營繕用品資金特別會計法案
- 造幣局ノ資金ニ關スル法律案
- 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案
- 樺太内地行政一元化ニ伴フ樺太廳特別會計ト他ノ會計ト關涉ニ關スル法律案
- 昭和十二年法律第八十號改正法律案
- 朝鮮事業公債法中改正法律案
- 朝鮮簡易生命保險及郵便年金特別會計法案
- 臺灣事業公債法中改正法律案
- 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

昭和十八年二月十六日(火曜日)午前十時十四分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ開會致シマス、北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案及多獅島鐵道株式會社所屬新義州南間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、此ノ兩案ニ對スル御質疑ヲ御願ヒ致シマス

○子爵秋田重季君 今委員長ノ御話ノ法案ニハ直接ノ關係ハナイノデゴザイマスケレドモ、チヨット政府ニ伺ッテ見タイト思ヒマス、ソレハ昨日新聞デ極ク簡單ニ發表サレテ居リマシタノデスガ、貨物運輸ノ爲旅客ノ列車ヲ減ラスト云フ爲ニ「カモメ」ノ特別急行列車竝ニ普通急行ノ二列車ヲ廢止シタ

ト云フコトガ出テ居リマス、又一等車ヲ減ラシタト云フコトモ附加ヘテ出テ居リマシタ、無論貨物輸送ノ列車ヲ殖ヤス爲ニハ旅客列車ヲ減ラサナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、其ノ爲ニ又旅客ノ輸送ニ非常ナ混亂ヲ來スヤウナ結果ニナリハセスカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ、政府委員カラデモ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堀木鐵三君) 御承知ノ通りニ此ノ十五日カラ旅客列車ノ一部ヲ整理致シマシタ、大體ノ趣旨ハ只今御話ガゴザイマシタヤウニ貨物ノ輸送力、殊ニ此ノ前ノ委員會會デ神山男爵カラノ御尋ノアリマシタヤウニ、昨年ノ十月六日ニ戰時陸運非常態勢ヲ開議決定致シマシタ當時ハ、石炭ヲ主トシテ狙ヒマシテ、ソレノ海陸綜合輸送力ヲ發揮スルト云フ觀點カラ、陸運デ相當數生產地カラ消費地迄、即チ從來ノ形式デアリマス所ノ生產地カラ港頭迄云フ輸送形態ヲ、一部山元カラ消費地迄、尙又船舶ノ運輸效率ヲ圖リマス爲カラ致シマシテ、從來ノ陸揚港即チ消費地ニ直接接近致シマシタ所ノ港ニ揚ガマス形式ヲ、一部消費地ヨリ遠クテモ、船舶ノ稼働能率ノ擧ガリマス事ト云フ觀點カラハ其ノ港ヲ利用スルト云フ事情カラ、石炭ノ陸運轉移ト云フ風ナ言葉デ呼バレル所ノ輸送形式ヲ採ルコトヲ決定致シタノデアリマスガ、神山男爵ノ御說ノ通りニ石炭以外ノ鐵礦其ノ他ノ重要物資ニ付キマシテモ、矢張り陸運ノ轉移ヲ圖ル緊急性ガゴザイマスノデ、殊ニ今回致シ

マシタノハ主トシテ鐵礦増產ヲ目標ト致シマシテ、之ニ必要ナル製品及鑛石ヲ初メト致シマシテ、其ノ他ノ原材料、一部原料炭ノ輸送、サウ云フ風ナモノヲ狙ヒマシテ、之ニ要スル輸送力ヲ捻出致シマスコトヲ主タル觀點ト致シマシテ、旅客列車ノ一部ヲ整理致シタノデゴザイマスノデ、事變後御承知ノ通りニ、旅客列車ニ付キマシテハ、車輛ニ於キマシテハ、設備能力ト致シマシテ一割少シ餘ノ能力ガ付イテ居リマス、列車「キロ」ニ於キマシテモ一部増強ヲ致シマシタ、併シナガラ全體ノ觀點ガ殆ド何ト申シマスカ、御承知ノ通りニ、戰時ニナリマシテカラ貨物輸送力本位、車輛ニ於キマシテモ、線路ニ於キマシテモ、貨物輸送力本位ト云フ風ナ觀點ニ終始致シテ居リマスノデ、軍事輸送ヲ初メ極ク緊急ナ必要ニ應ズル爲ノ一部旅客ノ設備ト云フモノヲ致シタニ過ギマセヌ譯デアリマス、併シ大臣モ能ク申シテ居ラレマスヤウナ通動通學ノ爲ニ、或程度ノ輸送力ヲ殖ヤシテ參リマシテ、今度減ラシマシタノハ大體新聞デ各列車共發表致シマシタ譯デゴザイマスガ、是等ニ付キマシテハ通動通學關係ヲ除キマス時ニハ大體事變前ヨリモ餘程惡イ狀態ニナッテ居リマス、從ヒマシテ戰前ニ比較シマシテ倍ノ旅客ニナッテ居リマス此ノ輸送量カラ考ヘマシテモ、又内容的ニ見マシテモ、時局ニ關聯致シマシテ非常ニ工員ノ輸送ガ多ク、ナッテ居ル、或ハ大陸ト交通ガ多クナッテ居ル、或ハ重要鑛山ニ對スル大量ノ労働者ノ移動デアリマスノカ、或ハ農業推進隊、増

產隊ノ移動デゴザイマスノカ、時局柄ドウシテモ移動シナケレバナラヌ非常ニ大キナ移動モゴザイマス、サウ云フ實のニモ相當旅客ノ部面デ變ッテ居リマス點カラ見マス、ト一般交通ニ付キマシテ、一般旅客ノ往來ニ付キマシテハ相當大キナ、何ト申シマスカ、影響ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ、此ノ列車ノ整理ニ依リマシテ出マシタ一部ノ車輛ハ、無論緊急ノ方面ニ當テナケレバナラヌ部門ガ大部分デゴザイマスガ、一部ハ編成ノ範圍ヲ大キク致シマシテ、此ノ整理ニ依ッテ浮キマシタ車輛ヲ現在動イテ居リマス殘存致シマシタ列車ニ増結致シマシテ範圍ヲ多ク致シタイ、斯ウ云フ風ナ考デゴザイマス、尙優等車ト申シマスガ、一二等及寢臺車ノ如キト云フ風ナモノハ相當大幅ナ制限ヲ受ケテ居リマスガ、今申上ガマシタ輸送量ノ觀點カラ考ヘマス時ニハ、何ト申シマシテモ定員ガ制限サレルトカ、或ハ限アリマスヤウナ車輛ト云フモノハ全體ノ趨勢ヲ眺メマシテ、矢張り輸送力ノ多イ三等客車ヲ増結スルト云フヤウナ方ニ、増結致シマス申シマスカ、或ハ三等車ニ振換ヘテ行クト云フコトハ已ムヲ得ザル處置カト考ヘテ居ル次第デアリマス、大體今回整理致シマシタ觀點ハサウ云フモノデゴザイマスガ、唯場所的ニ見マシテ、特ニ其ノ線路ノ輸送力ヲ增強致シマス云フ爲ニ、必ズシモ全國的ニ平衡ヲ得テ居リマセヌ部分ガゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ何ト申シマスガ、只今申上ガマシタ鐵礦増產ノ爲ノ緊急性ト云フモノ

ガ、時局ノ進展ニ應ジマシテ、急速ニ解決シナケレバナラヌト云フ風ナ觀點ニ立チマシテ、全體ト致シマシテ、急速ニ整理ヲ致シマス云フ風ナ情勢デゴザイマスノデ、イツモノヤウニ全般的ニ時刻改正ヲ致シマシテ列車ヲ整理スルト云フ風ナ時間的餘裕ガナイ、此ノ點ハ實ハ今後モ已ムヲ得ズ起ルカト思フノデゴザイマスガ、御承知ノ通り時局ノ段階ニ應ジマシテ、色々ナ變化ガゴザイマスノデ、ソレニ應ジマシテ直チニ處理ヲ致サナケレバナラヌト云フ風ナ必要性ガ起リテ參リマスノデ、今迄ノヤウニ全國的ニ時刻ヲ少イナラ少イナリニ整理致シマシテ、何ト申シマスカ、列車ガ有機的ナ關聯性ニ於テウマク行ッテ居ルト云フ風ナ態勢ヲ整ヘルト云フノハ相當ノ時間ヲ要シマスノデ、サウ云フ準備の期間モナシニ致サナケレバナラヌト云フコトガ、今後モ起リ得ルカト思ヒマスガ、其ノ點ニ於キマシテ、今回モ實ハ取消シマシテ、貨物輸送力ヲ捻出スルト云フ點ニ觀點ヲ置キ、而モソレヲ緊急處置スル爲ニ、全體トシテハ幾分サウ云フ點ガアツタ、又アリ得ルト云フコトハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、大體ソレデハ取消シタ列車ニ付テ尙具體的ニ御希望ガアルヤウデゴザイマシタラ申上ゲタイト思ヒマスガ、東海道、山陽線ニ於キマシテ、特急「カモメ」ヲ全區間廢止致シマシタ、此ノ「カモメ」モ御承知ノ通り、昨年十一月十五日ニ「サクラ」ヲ整理致シマシテ、之ヲ普通急行ニ致シマシタノト相俟チマシテ、特急ガ半減致シマシタ譯デアリマス、ソレカラ、東京ト名古屋ニ急行ガアツタ譯デゴザイマスガ、是ハ事變後ニ作リマシタ急行列車デゴザイマスガ、是ガ一應止メルコ

トニ相成リマシタ、以上二ツガ大體畫間ノ關係デゴザイマスガ、夜行ニ於キマシテハ東京ヲ出マシテ、從來神戸行ニナツテ居リマシタ所ノ一二等急行デゴザイマスガ、之ヲ上リ下リトモ止メル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、尙大體急行列車ハ東京神戸間ト云フモノノ建前ニ致シテ居ッタノデゴザイマスガ、大阪ト神戸ノ間ニ於キマシテハ省線電車ナリ地方鐵道ノ軌道ノ電車ガゴザイマスノデ、是等ノ御利用ヲ願フト云フコトヲ考ヘマシテ、實ハアノ區間ニ相當重要物資ガ押寄セテ參ルヤウナ狀況ニナツテ居リマスノデ、線路ノ容量ヲ空ケタイト云フコトカラ、東京、神戸間ノ列車ハ全部東京、大阪間ノ列車ト致ス、斯ウ云フ風ニ相成ッタ譯デアリマス、尙大阪ト下關ノ間ニ於キマシテ一往復取消ヲ致シマシタ、急行列車ノ東海、山陽ニ關スル主ナルモノハサウ云フ列車デゴザイマス、東北本線ニ於キマシテハ上野カラ青森ニ參ッテ居リマス急行ヲ、上野ト仙臺ノ間ニ致シマシタ、ソレカラ上野ト仙臺モウ一本急行ガゴザイマシタガ、之ヲ全部止メルコトニ致シマシタ、ソレカラ信越線デハ上野カラ新潟ヘ直通致シマシタ、朝ノ八時ニ出テ居リマス、是ガ同區間デハ唯一ノ急行列車デゴザイマシタガ、之ヲ廢止致シマシタ、アノ區間ハ相當何ト申シマスカ、從來ト違ッタ港ノ利用方法ガ裏日本ノ諸港ニ付テ起リテ參ッテ居リマス、ソレ等ノ觀點カラ考ヘマシテ、米、石炭及ビ大陸トノ物資ノ移動ト云フモノヲ考ヘマシテ、此ノ區間ニ於キマシテ此ノ急行ヲ止メザルヲ得ナカッタノデアリマス、尙北陸方面ニ於キマシテモ稍、同様ノ理由モゴザイマシテ、上野ヲ出マシテ金澤ヲ經由致シマシテ、大阪

ニ參ッテ居リマシタ所ノ急行ヲ金澤デ打切リマシテ、大阪迄延スコトヲ止メタ次第デアリマス、山陰線ニ於キマシテハ大阪ヲ出マシテ大社ヘ參ルト云フ急行列車ガアツタノデアリマスガ、是モ止メタ譯デアリマス、尙鹿兒島本線ニ對シマシテハ、東京ヲ出マシテ、鹿兒島迄參ッテ居リマス急行ヲ、熊本デ打切ルト斯ウ云フ風ナ情勢ニ相成ッテ居ル譯デアリマス、是モ關門ガ開通致シマシテ、初メテ其ノ後直通致シテ居リマシタ急行列車デゴザイマスガ、是モ止メタ譯デゴザイマス、尙日豐線ニ急行ガ一ツアツタ譯デアリマスガ、是モ一往復止メマシタ爲ニ、是デ日豐線ノ急行ハ全然無クナツタ、斯ウ云フ風ナ情勢デゴザイマス、大體大キナ急行列車、特急及ビ急行トシテノ大キナ變化ト云フモノハソレ等デゴザイマスガ、尙從來急行ト迄參リマセヌデ、地方交通ニ相當役立ッテ居リマシタ所ノ準急列車ト云フモノガゴザイマシタ、相當通過驛ヲ有チマシタ、「スピード」ノ速イ準急列車ト云フモノヲ各線區ニ致シテ居リマシタガ、是等ニ付キマシテ極ク小部分、四國ニ一部ゴザイマス、後ハモウ殆ド數ヘル程ノモノガナイ、全廢ニ近イモノト致シマシタ、準急列車ト云フモノハ極ク地方的ノ緊要デアルト云フ風ナ例外的ナ部分ヲ除キマシテハ、全部止メタ譯デアリマス、其ノ點デ一番大キナ影響ヲ受ケテ居リマスと思ヒマスノハ關西本線ト參宮本線デゴザイマス、名古屋、大阪附近カラ伊勢ヲ繋イデ居リマス所ノ速イ準急列車ハ全部止メタ譯デアリマス、尤モ同方面ニ於キマシテハ關西急行ノ線ガゴザイマスノデ、旅客ト致シマシテハ此方ノ方ノ利用ト云フコトモ併セテ考ヘテ戴ク、

尙紀勢西線ノ方面ニ於キマス所ノ準急モ止メタノデアリマス、其ノ外中央線、高山線、日光線ニ於キマスモノヲ止メテ居リマス、普通列車モ相當數矢張り消サザルヲ得ナカッタノデアリマス、貨物輸送力ヲ車輛、線路全部ニ互リマシテ考ヘマス時ニ、普通列車ニ付キマシテモ、相當ノ整理ヲ必要ト致シマス、東京附近デ一番大キナ影響ガアリマスカト思ヒマスノハ、熱海方面ノ列車、伊東方面ノ列車ト云フモノハ、相當列車本數ヲ減ラシマスノミナラズ、相當從來直通致シテ居リマシタモノガ直通致サヌト云フ風ナ情勢ニ相成ッテ居リマス、普通列車ト致シマシテハ各線區間ニ互リマシテ列車ヲ減ラサザルヲ得ナカッタ、唯通過通學ノ方ハ相當考慮ヲ致シマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、勿々ノ際急イデ此ノ仕事ヲ仕上ゲナケレバナリマセヌ狀態デハゴザイマシタガ、相當考慮致シタ積リデゴザイマス、其ノ外今申上ゲマシタヤウナ急行列車ニハ多ク食堂車ガ附イテ居リマス、或ハ只今申上ゲマシタ東京、門司間ノ列車ト云フ風ナモノニ……、今申上ゲル以外デゴザイマスガ、東京、門司間ノ列車ニ付キマシテ、一等寢臺車ヲ外シマス、或ハ名古屋、長野間ノ夜行ノ二等寢臺車ヲ外シマス、食堂車ヲ一部東北線ノ分ニ付キマシテ外シマス、無論先程カラ申上ゲマシタ急行ニ付キマシテハ相當寢臺車ノ他優等車ガ附イテ居ル譯デアリマスガ、ソレ等ノモノガ自然止メル結果ニナルモノモ出來テ來ル、斯ウ云フ風ナ情勢デゴザイマス、唯部分的ニハ整理サレル、サウ云フ列車ヲ整理致シマシタ爲ニ、他ノ列車ニ停車驛ヲ少シ追加シタヤウナ所ガゴザイマス、尙先程附加ヘレバ宜カッタ

カト思ヒマスガ、東京ト大阪附近ノ終電車ト申シマスカ、終電車ヲ中心ニ致シマシテ電車ヲ幾分整理致シマシタ、最近ノ社會情勢ニ考ヘマシテ、終電ノ利用狀況ヲ現狀ノ儘デ置イテ置ク必要モ餘程減テ居リマス、ト同時ニ電力節約ト云フ風ナコトモ併セ考ヘマシテ、終電ヲ一部ノ區間ヲ除キマシテハ、二十分乃至四十分位線上ゲマス同時ニ、通勤通學時間以外ノ閑散時ニ於ケル臺數モ幾分減ラス、斯ウ云フ風ナ狀況デゴザイマス、尙此ノ旅客列車ノ整理ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、貨物ニ付キマシテモ矢張り全體トシテノ輸送力ヲ増強致シマス爲ニ、小口ノ貨物、是ハ大體各物資ノ統制機構ガ整テ參リマシタノデ、全體トシテモ幾分減テ居ル傾向ニハゴザイマスガ、是等小口ノ貨物ト申シマスモノハ、比較的数量ノ割合ニ貨車ヲ澤山使用シナケレバナラヌト云フ風ナ情勢デアリマスノデ、是等ノ重要物資ノ方ニ轉換致シマス爲ニ、相當數小口ノ輸送力ヲ減ラス、今ノ所ハ約三割位ヲ目標ニ致シマシテ小口ノ輸送力ヲ減シテ、重要物資ノ方ニ轉換ヲ圖ル、サウシテ貨車ノ有效ナ利用ヲスル、斯ウ云フ風ナ觀點カラ是モ併セテ極ク最近ニ實施致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○光行次郎君 私ハ犯罪對策ニ付テ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、鐵道省ハ澤山ノ從業員ヲ有シテ居ラレノデ、從業員ノ職務上ノ犯罪防止ニ對シテハ相當ノ施設ヲ設ケテ居ラレト見エマシテ、現今從業員ニ關スル犯罪ガ非常ニ減少シテ居ルノヲ發見致スノデアリマシテ、誠ニ喜ブベキコトダト

考ヘテ居リマス、サウ云フ際ニ私ガ犯罪對策ヲ聽ク必要アリマセヌガ、今度十二社ヲ買収ナサルト云フコトニ付キマシテ、ソレニ從事スル所ノ從業員モ多數アルコト思ヒマス、其ノ從業員ハ其ノ儘御使用ニナル御積リデアルカ、或ハ又更ニ外カラ改メテ御採用ニナル御積リデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ、ト云フノハ私ノ經驗ニ依リマス、九州鐵道トカ山陽鐵道トカト云フモノガ國鐵ニナリマシタ直後、從業員ノ犯罪ガ頗ニ増加シテ居ル事實ガアルノデゴザイマス、是ハ御承知ノ通り、私立會社ニ於テハ從業員ハ官吏デモ公吏デモナイモノデスカラ、職務上色々ナ物ヲ頂戴シテモ犯罪ヲ構成シナイノデアリマス、從テ「コンミッショ」ノヤウナ考デ自由ニ行ハレテ居ルヤウナ關係モアルカモ知レマセヌガ、官吏トナリマス、直チニソレガ演職罪ニナッテ參リマスノデ、犯罪ガ頗ニ増加スル、是ハ矢張り長イ習慣デ、唯制服制帽デハ官吏ニナッタ心持ガ出來ナイモノト見エマシテ、犯罪ガ頗ニ増加シテ居ルノデゴザイマス、此ノ度此ノ十二社ノ從業員ヲ全部御採用ニナルト致シマスレバ、此ノ點ハ御注意ニ付テ然ルベキモノト存ジマス、或ハ私ガ申上ゲスデモ既ニ御注意遊バシテ居ルカモ知レマセヌガ、一ツ其ノ邊ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今ノ御質問トソレニ關聯シテノ御注意ノ點ハ、誠ニ有難ク存ズル所デアリマシテ、鐵道省ト致シマシテハ、從來年々ニ是迄モ私設鐵道ヲ買収シテ參ッテ居ル譯デアリマスガ只今ノ點ニ付キマシテハ、サウ云フ際ニ於キマシテモ色々ト注意ヲ拂ッテ居ル譯デアリマス、今回比較的多數ノ鐵道ヲ買収スルニ伴ヒマシテ、

相當數ノ從業員ガ引繼ガレルコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、勿論其ノ機會ニ必ズシモ全部ガ移ッテ參ル譯デハナイノデアリマスガ、原則トシテハ引繼グト云フコトニ從來モ今回モ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、就キマシテハ今御話ノ點ニ付テハ、私共ニ於テモ最モ誤リナイ措置ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、御話ノ如ク鐵道ノ犯罪ト申シマスガ、サウ云フ風ナ問題ニ付キマシテハ、最近御蔭ヲ以チマシテ思想上其ノ他ノ點ニ於テモ、時局ノ關係モアリ、非常ニ改善サレテ居ルノデアリマシテ、大變喜ンデ居ルノデアリマス、唯毎日非常多數ノモノヲ取扱ヒマスノデ、其ノ間時々世間カラ非難ヲ蒙リマスル所謂小荷物等ノ紛失トカ、サウ云フ犯罪ガ伴フ點ヲ、今日ノ時局柄非常ニ私共ハ注意致シテ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナ關係ト、モウツハ、最近從業員ガ大體ニ於テ年ガ非常ニ若クナッタノデアリマシテ、所謂勤續年數ガ、過去ニ例ヘバ五年未滿ノ者ガ二割幾ラト云フヤウナ程度デアツタモノガ、最近ニハ五割以上ニナッテ居ル、倍加シテ居ルト云フヤウナ譯デアリマスシ、又未成年者ガ非常ニ多イノデアリマス、詰リ工場デ申セバ少年工ニ相當スル者ガ鐵道從業員ノ可ナリノ部分ヲ占メテ參リマシタ、斯様ナ關係デ、日常ノ動モスレバ過チニ陥リ易イト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、全體ノ鐵道省トシテハ非常ナ苦心ヲ拂ヒ、之ガ養成、訓育等ニ付テハ格段ノ注意ヲ拂ッテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ買収ニ依ッテ移ッテ參リマスル人々ノ爲ニハ、更ニ斯ウ云フヤウナ關係ヲ以チマシテ一層ノ注意ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ、御質問ガナイヤウデアリマスカラ、是デ質疑ヲ打切りマシテ討論ニ移リタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス、討論ニ移リマス

○内田重成君 私ハ只今提案ニナッテ居リマスル北海道鐵道外十一鐵道並ニ多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買収ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ意見ヲ申シ述ベタイト考ヘマス、此ノ兩案ニ付キマシテ私ハ全面的ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、元來私設鐵道ヲ國有鐵道ニ併合致シマスルコトハ、國有鐵道ノ元來ノ使命ニ鑑ミテ、國有鐵道全體トシテ抱キ得ルナラバ、其ノ私設鐵道ガ假令經濟的ニ不利ナルモノデアッテモ、國有鐵道トシテハ地方ノ文化、産業ノ發展等ノ見地カラ、之ヲ抱クベキモノデアルト云フコトヲ平常カラ考ヘテ居ルノデアリマス、從來屢、サウ云フ意味ニ於キマシテ、私設鐵道ヲ國有鐵道ニ併合シタ事例ガ多イノデアリマス、然ルニ此ノ度御提案ニ相成ッテ居ル十二鐵道買収ハ、其ノ説明ニ於キマシテ一々極メテ明瞭ナル理由ガ説明シテゴザイマスル通りニ、鐵道敷設法豫定線ニ該當スル路線多キノミナラズ、重要資源開發、生産擴充、海陸連絡施設ノ整備ト云フヤウナ、戰時下最モ急ヲ要シ、且必要トスル理由ガ明瞭ニサレテ居ルノデアリマシテ、此ノ理由ハ各鐵道ノ實情ニ即シテ之ヲ檢討致シマシタ時ニ、一々首肯ノ出來ル理由デアルト考ヘルノデアリマス、私ハ寧ロ此ノ提案ノ遅カリシコトニ付テ稍、遺憾ヲ感

ズル位ノモノデアリマシテ、只今此ノ御提案ノ理由ニ付キマシテ、其ノ一々ノ理由ガ最モ適切デアルト云フコトヲ感ズルノデアリマスガ、從テ本十二鐵道買收ニ付キマシテハ、些ノ疑點ヲ有シナイモノデアリマスノデ、私ハ速カニ兩院ヲ通過シ、而シテ速カニ是ガ實施サレムコトヲ希望スル次第デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ此ノ兩案ニ對シテ全面的贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、終リ

○委員長(公爵島津忠承君) 外ニ御發言ハゴザイマセヌカ、御發言ナイヤウデアリマスカラ、是ヨリ採決ヲ致シマス、兩案共原案通り可決スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 御異議ナイト認メマス、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵島津忠承君) 散會致シマス

午前十時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵島津 忠承君
副委員長 子爵秋田 重季君
委員

侯爵筑波 藤麿君
伯爵大木 喜福君
子爵安藤 信昭君
光行 次郎君
中川 健藏君
大野綠一郎君
內田 重成君
男爵飯田精太郎君
黑崎 定三君
男爵松田 正之君

國務大臣

政府委員

鐵道大臣 八田 嘉明君

菅澤 重雄君

男爵神山 嘉瑞君

竹內 可吉君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

大藏省營繕管財局長 濱田 幸雄君

鐵道次官 長崎惣之助君

鐵道監 佐藤 榮作君

同 堀木 鎌三君

同 小林 紫朗君